

## 予告

### 「学会認定・アフェレーシスナース（仮称）制度」の設立について

会員各位

このたび本学会は、日本造血細胞移植学会の協力（骨髄移植推進財団と日本赤十字社には相談中）を得て、「学会認定・アフェレーシスナース（仮称）制度」を立ち上げることにいたしましたので、ご案内申し上げます。

血液成分採血装置を用いて行われるアフェレーシスは、末梢血幹細胞や血小板の採取で広く行われています。本年度、非血縁者ドナーからの末梢血幹細胞採取が保険適応となり、アフェレーシスを行う機会が一層増えることが予想されます。一方、アフェレーシスには危険を伴うことが知られており、海外では末梢血幹細胞採取に関連して死亡事例があります。アフェレーシスの安全を高めるには、アフェレーシスに従事する看護師の教育と認定が必須であり、それは本学会が果たすべき役割です。

以上を背景に、本学会の主導の下、アフェレーシスに精通し、安全なアフェレーシスに寄与することができる看護師の育成を目的として、「学会認定・アフェレーシスナース（仮称）制度」を立ち上げることに致しました。正式なご案内は、日本輸血・細胞治療学会誌 vol. 56, no. 3（本年6月下旬発行）に、会告として公示する予定です。

受験資格は下記の如くで、第1回目の試験を平成22年（2010年）11月に予定しています。会員の皆様には、本制度の設立につきまして、看護師の方々にお知らせいただき、「学会認定・アフェレーシスナース（仮称）制度」が成功裡に発足できますようご協力をお願いいたします。

## 記

### 1. 名称（仮称）

- ・ 学会認定・アフェレーシスナース

### 2. 受験資格（案）

- ・ 看護師とする
- ・ カリキュラム委員会の定めた研修会への参加
- ・ 病院長及び所属長（看護部長）の承認
- ・ 諸費用（申請、研修、試験）の納入

### 3. 第1回認定試験（案）

- ・ 平成22年（2010年）11月に予定

平成22年4月13日  
日本輸血・細胞治療学会  
理事長 大戸 斉